

万ーのとき

6

●発炎筒の使いかた	312
●路上で故障したときは	313
●けん引するときは	314
他車にけん引してもらうとき	314
後ろ側のフックについて	316
●オーバーヒートしたときは	317
●12Vバッテリーがあがったときは	318
●ヒューズを点検・交換するときは	321
●電球（バルブ）を交換するときは	323
●工具・ジャッキ・スペアタイヤについて	330
格納場所	330
スペアタイヤについて	331
ジャッキアップのしかた	332
●パンクしたときは	336
タイヤ交換のしかた	336
●事故がおきたときは	340

目次

警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた車と
の
あ
い
か
手
な

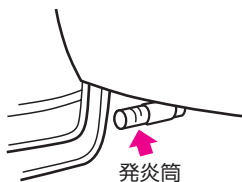
万ーのとき

サービ
スデ
ータさく
いん

発炎筒の使いかた

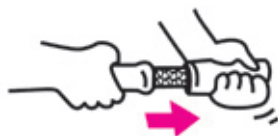
故障や事故などで緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

- ①助手席足元部のホルダーから発炎筒を外します。



TSG0027Z

- ②本体を回しながらケースから引き抜きます。



TSC0694Z

- ③点火部をケースのすり薬でこすって点火します。



TCA0159Z

警告

- お子さまには触らせないでください。いたずらなどで発火するおそれがあり危険です。
- 可燃物の近くで使わないでください。引火する危険があります。
- 点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけないでください。やけどをする危険があります。
- トンネル内では使わないでください。煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり事故をまねくおそれがあります。このときは非常点滅表示灯を使ってください。

知識

- 点火後は約5分間燃え続けます。発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- 発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。

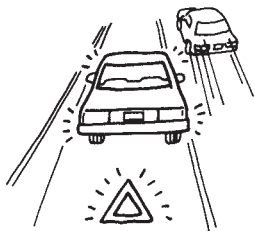
路上で故障したときは

必ず安全な場所に車を退避させ、非常点滅表示灯などで後続車に危険を知らせてください。

安全な場所に退避できないときは、発炎筒（○P.312）で後続車に危険を知らせてください。

■路上で故障したとき

- ①車を路肩などに止め、非常点滅表示灯を点滅させます。
- ②高速道路や自動車専用道路では、車の後方に停止表示板又は停止表示灯を置きます。

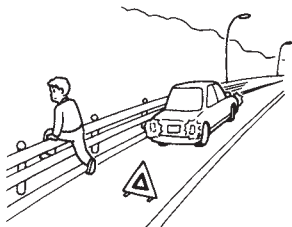


TCA0160Z

知識

- 高速道路や自動車専用道路では、停止表示板（停止表示灯）の表示が法律で義務づけられています。

- ③全員車から降り、ガードレールの外など安全な場所に、すみやかに避難してください。



TCA0161Z

- ④安全を確保後、救援を頼みます。

■走行できなくなったとき

- ①あわてずハイブリッドシステムを始動し直してみます。
- ②ハイブリッドシステムが始動しないときは、付近の人に救援を求めて、車を押しもらい、安全な場所に移動してください。このときセレクトレバーをNにしてください。



TSC1843Z

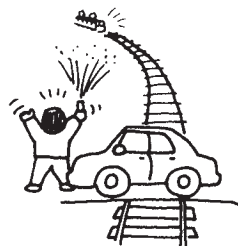
- ③安全な場所に移動後、救援を頼みます。

⚠ 注意

- ハイブリッドシステムが停止していると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が動かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなりますので注意してください。

■踏み切りで出られないとき

- ①ただちに踏み切りの非常ボタンを押してください。
- ②発炎筒で一刻も早く列車に知らせてください。



TCA0163Z

けん引するときは

車が動かなかったり、異常な音がするときは、けん引せずに日産販売会社へご連絡ください。

けん引が必要なときは、できるだけ日産販売会社、又は専門業者に依頼してください。

🔍JAFの営業所一覧…メンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

他車にけん引してもらうとき



警告

- 電源ポジションがLOCKで12Vバッテリーがあがると、ステアリングロックの解除ができなくなるため、このままの状態でけん引しないでください。けん引するときは救援車のバッテリーとつなぎ、電源ポジションをAcc又はONにしてハンドル操作ができる状態で行ってください。また、けん引中は電源ポジションをLOCKにしないでください。ハンドル操作ができなくなり危険です。



注意

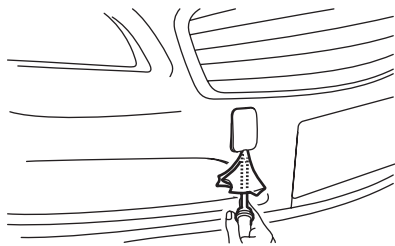
- ハイブリッドシステムが停止していると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなりますので注意してください。
- 長い下り坂では、ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。このような場所でけん引するときは、レッカー車で引いてもらってください。
- 前輪を上げてけん引するときは、電源ポジションをONにしないでください。VDCが作動しブレーキがかかることがあります。



アドバイス

- けん引してもらうときは、速度30km/h以下、距離30km以内にしてください。高速走行や長距離走行をすると、トランスミッションが破損するおそれがあります。できるだけレッカー車、又はトレーラーを依頼してください。
- けん引ロープはできるだけソフトロープを使い、バンパーに傷をつけないように注意してください。

- ①カバーの溝にマイナスドライバーのような先の細いお手持ちの工具を差し込み、カバーを外します。



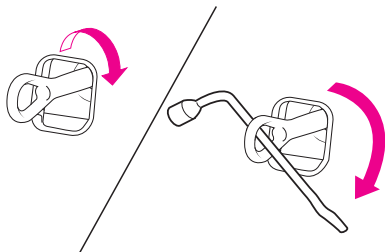
ZCE0597

アドバイス

- 工具に布などを当てながら外してください。傷をつけるおそれがあります。

- ②ホイールナットレンチを使ってけん引フックを確実に取り付けます。

●工具…P.330



ZCE0028

- ③自車及び他車のけん引フックにロープを掛けます。

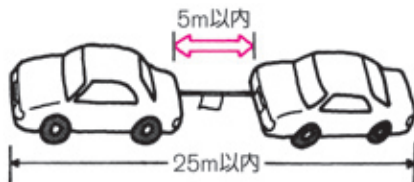
注意

- 指定以外のフックは絶対に使わないでください。フック部が破損するおそれがあります。

アドバイス

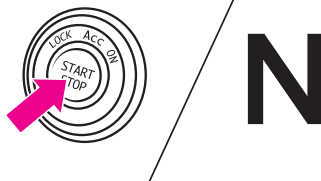
- ロープを掛けるときは、できるだけ同じ側で水平になるように掛けてください。

- ④ロープ中央に30cm×30cm以上の白い布を必ず付けます。



TSC1844Z

- ⑤ハイブリッドシステムを始動させ、セレクトレバーをNにします。



ZCE0351

- ⑥パーキングブレーキを解除します。

注意

- ハイブリッドシステムを始動できないときは、電源ポジションをAcc又はONにしてください。

- ⑦けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。



TSA5604Z

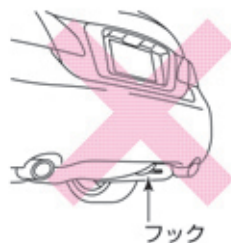
- 使い終わったら、けん引フックを取り付けたときと逆の手順で取り外します。

後ろ側のフックについて

後ろ側のフックは船舶輸送時の固定専用です。

けん引やトレーラー輸送時などの固定には絶対に使わないでください。

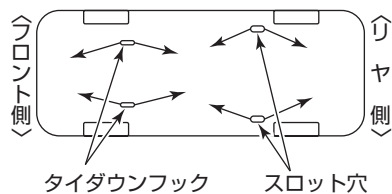
この車で他車をけん引することはできません。



ZCE0595

🚗 アドバイス

- トレーラーなどで輸送するときは、車両下側のスロット穴とタイダウンフックを使い固定してください。



ZCE0353

オーバーヒートしたときは

次のようなときは、オーバーヒートです。

- 高水温警告灯 (P.130) が点灯したとき。
- エンジンルームのすき間から蒸気が出ているとき。

警告

- エンジンルーム内は高温になっているため、エンジンフードを開けるときは十分に注意してください。やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- エンジンが十分に冷えていないときは、ラジエーターやリザーバータンクのキャップを外さないでください。蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。

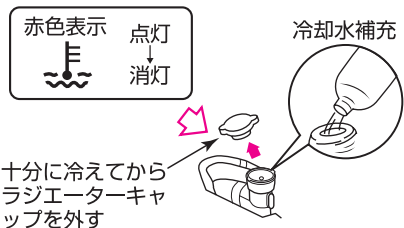
■処置のしかた

- ①ただちに安全な場所に停車します。
- ②ハイブリッドシステムを作動させたままエンジンフードを開け、風通しをよくしてエンジンを冷やします。
万一、冷却ファンが回っていないときは、ただちにハイブリッドシステムを停止し、自然冷却してください。

警告

- 蒸気が出ているときは、エンジンフードを開けないでください。やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
エンジンを止め蒸気が出なくなるまで待ち、エンジンフードを開けてください。

- ③高水温警告灯が消灯したら、ハイブリッドシステムを停止させしばらく待ちます。
エンジンが十分に冷えてから冷却水の量、ホースなどからの水漏れを点検してください。



ZCE0508

- ④冷却水が不足しているときは、エンジン冷却用のラジエーターとリザーバータンクに冷却水を補充してください。
・補充後は、しっかりキャップを閉めてください。
●ラジエーター、リザーバータンク位置…P.345
●サービスデータ (冷却水) …P.343

アドバイス

- 応急的に水だけを補充したときは、できるだけ早くエンジンクーラントを交換してください。

- ⑤走行中、再度高水温警告灯が点灯したときは、①～④の作業を繰り返し行ってください。
- ⑥早めに日産販売会社で点検を受けてください。
●メーター内の車両情報ディスプレイに「ハイブリッドシステムオーバーヒート」と表示されたときは、ハイブリッドシステムオーバーヒート警告…P.110をお読みください。

12Vバッテリーがあがったときは

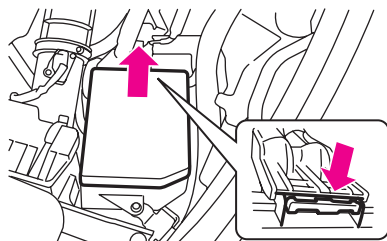
次のようなときは、12Vバッテリーのバッテリーあがりです。

- メーターが表示されない、または各種警告灯がうす暗く点灯するとき。
- ライトがいつもより極端に暗いとき。
- ホーンの音が小さい。又は鳴らないとき。

■処置のしかた

12V（ボルト）バッテリー仕様の救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつなぎ始動してください。

- ①電源ポジションをOFF又はLOCKにします。
- ②ヒューズボックスのふたを外します。



ZCE0509

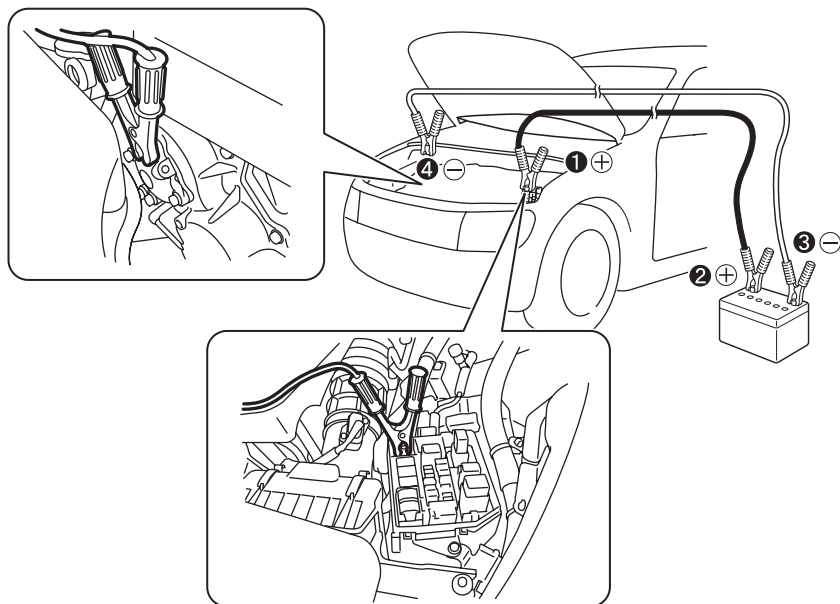
- ③ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

1本目

- ①自車（12Vバッテリーがあがった車両）のヒューズボックスの⊕端子
- ②救援車（正常な）バッテリーの⊕端子

2本目

- ③救援車（正常な）バッテリーの⊖端子
- ④自車の車体（バッテリーから離れたボルトなど）



ZCE0510

⚠ 警告

- ブースターケーブルをつなぐときは、以下のことを必ずお守りください。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- ブースターケーブルを正しい順番と位置でつなぐ。
- ブースターケーブルを自車バッテリーの⊖端子に直接つながない。
- ブースターケーブルの⊕端子と⊖端子を接触させない。

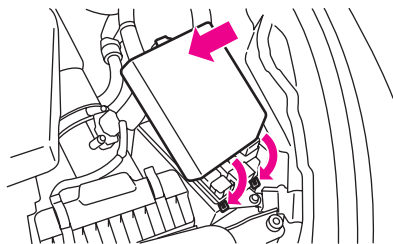
- ④ 救援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を少し高めにします。
- ⑤ 自車のハイブリッドシステムを始動します。
 - ヘッドランプやエアコンなどはOFFにしてください。
 - ハイブリッドシステムが始動しても、しばらくエアコンやオーディオを使わないでください。

🚗 アドバイス

- ハイブリッドシステムが始動できない場合には、一旦電源ポジションをOFFにして、10秒以上待ってから再始動してください。

- ⑥ ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。

- ⑦ ヒューズボックスのカバーを取り付けます。



ZCE0511

- ⑧ 早めに日産販売会社で点検を受けてください。

⚠ 警告

- 12Vバッテリーを充電するときは換気を十分に行い、火気は近づけないでください。12Vバッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。万一、付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診療を受けてください。

 注意

- ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触しないように注意してください。
- ブースターケーブルは、エンジン始動時の振動で外れたりしないように、確実につないでください。
- ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンに巻き込まないように注意してください。

 アドバイス

- 押しがけでの始動はできません。
- 12Vバッテリーはお客さまの車に適合した日産純正部品をおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。
- 12Vバッテリーがあがるとステアリングロックの解除が行えず、電源ポジションが切り替わらなくなります。すみやかに12Vバッテリーを充電してください。

ヒューズを点検・交換するときは

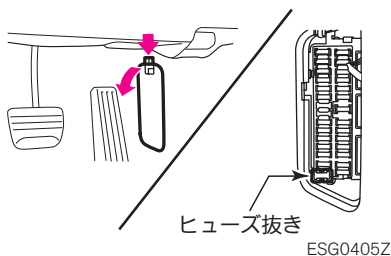
ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。

故障の状況から、関係するヒューズの位置を確認してください。

■ヒューズボックスの位置

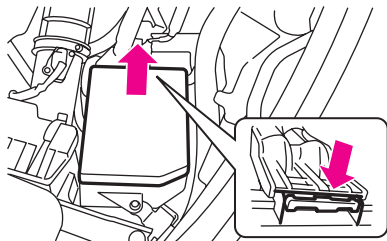
ヒューズボックスは運転席足元とエンジンルーム及びトランクルーム左側にあります。

運転席足元



エンジンルーム

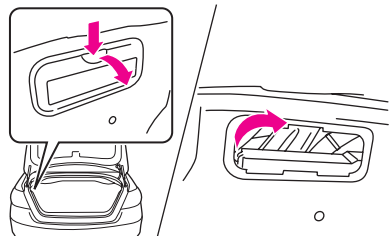
ロックを外してふたを開けます。



トランクルーム

トランクルームの左側にあります。

- ① トリムカバーの中央を下に押し下げてカバーを外します。
- ② ロックを外してふたを開けます。

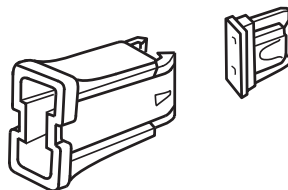


■ヒューズの位置

- ヒューズボックスのふたに表示してあります。
- 車種により、付いていないヒューズがあります。

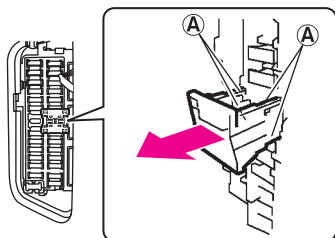
■ヒューズの交換のしかた

- ① 電源ポジションをOFF又はLOCKにします。
- ② ヒューズボックスを開けます。
- ③ ヒューズ抜きをヒューズに差し込んで引き抜き、ヒューズが切れていないか確認します。



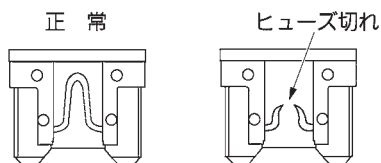
🚗 アドバイス

- 下記のイラストのような部品が付いている場合は、その部品の中にもヒューズがあります。中のヒューズを点検・交換するときは、④を上下につまみながら矢印の方向に引き抜いてください。



ZCE0563

- ④ヒューズが切れているときは、同じ容量のヒューズと交換します。



TCE0058Z

🚗 アドバイス

- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズ抜きは、ヒューズに対して垂直に差し込み、引き抜いてください。
- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。

⚠️ 警告

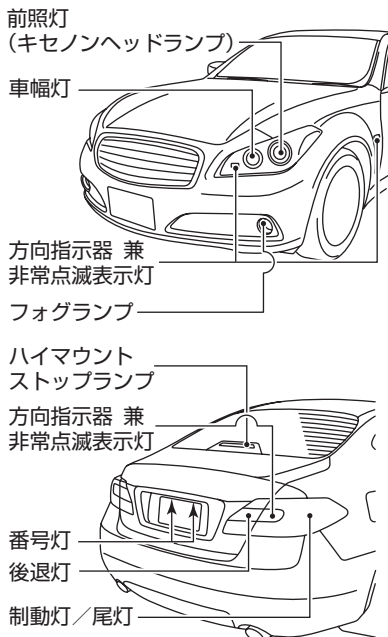
- 規定容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使わないでください。配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。

電球（バルブ）を交換するときは

外装ランプが点灯しないときは、バルブ切れが考えられます。バルブを点検し、切れているときは交換してください。

- バルブの交換作業が不慣れな方や部品の破損などが心配な方は、日産販売会社にご相談ください。

■外装ランプの位置



ZCE0596

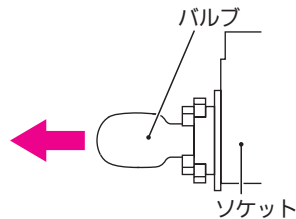
- 以下のバルブが点灯しないときは、日産販売会社で点検を受けてください。
 - ・前照灯（キセノンヘッドランプ）
 - ・方向指示器 兼 非常点滅表示灯（側面）
 - ・ハイマウントストップランプ
 - ・制動灯／尾灯

⚠ 警告

- キセノンヘッドランプは点灯時高電圧になります。感電防止のため、ランプの脱着、バルブの交換は絶対に行わないでください。

■バルブの外しかた

各バルブ（フォグランプを除く）をソケットから外すときは、バルブを持ち、引き抜きます。



ESH0775Z

目次

⚠ 警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた車と
上手な
付き合い万
一
の
と
きサー
ビス
デ
ー
タさ
く
い
ん

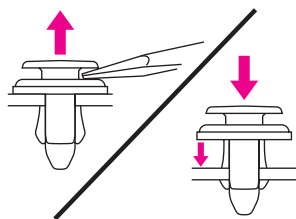
■クリップの脱着のしかた

バルブの交換作業をするときは、クリップを外し、内装などを脱着します。

以下の方法で、各クリップを脱着してください。

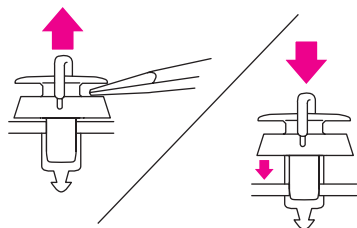
クリップA

- 切り欠きにお手持ちの工具（マイナスドライバーなど）を差し込み、ロックを解除してから引き抜きます。
- 取り付けるときは、ロックが解除された状態で取り付け、指でロックを押し込みます。



ESG0457Z

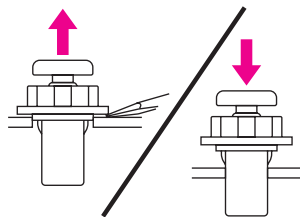
クリップB



ZCE0379

バンパーラバー

- バンパーラバーと取り付け面の間にお手持ちの工具（マイナスドライバーなど）に布などを当てて差し込み、引き抜きます。
- 取り付けるときは、そのまま押し込みます。



ESG0458Z

■バルブ交換のしかた

- 交換をする前に12Vバッテリーの⊖端子を外してください。
- 指定された容量のバルブ（QP344）に交換してください。
- 交換したあとは、点灯することを確認してください。
点灯しない場合は、日産販売会社で点検を受けてください。



注意

- バルブの交換は、エンジンルームやバルブが冷えた状態で行ってください。やけどをするおそれがあります。
- バルブ交換をするときは、軍手などを着用して作業してください。
- ステアなどの端で指や腕をケガしないように十分注意してください。



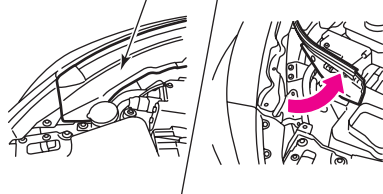
アドバイス

- 外した部品は確実に取り付けてください。水が入り故障の原因になるおそれがあります。
- バルブに油が付着したときは柔らかい布などでふき取ってください。また、素手でガラス部分に触れないでください。バルブの寿命が短くなったりバルブが破損するおそれがあります。

車幅灯

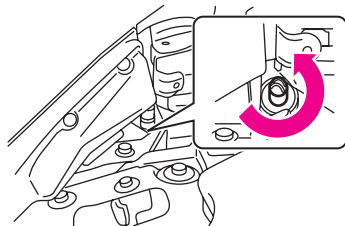
- ①ウェザーストリップをめくります。
（ウェザーストリップのクリップも合わせて外れます。）

ウェザーストリップ



ZCE0513

- ②ソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。

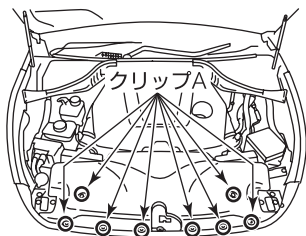


ZCE0514

- ③取り外したときと逆の手順で取り付けます。

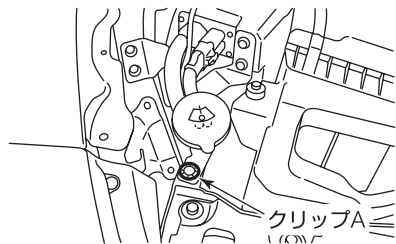
方向指示器 兼 非常点滅表示灯（前面）

- ①エアクリーナーダクトを外します。
 ・お手持ちの工具を使ってクリップA（8箇所）を外し、エアダクトを外します。



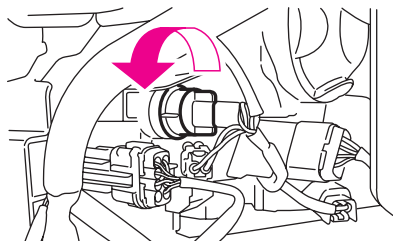
ZCE0515

- ②運転席側のバルブを交換する場合は、クリップを外し、ウォッシャータンクインレットを外します。
 （助手席側の交換の場合は③以降をお読みください。）



ZCE0517

- ③ソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。

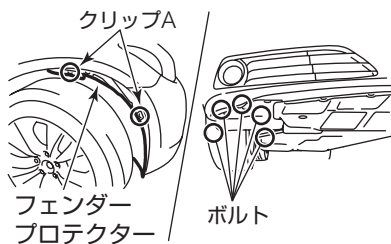


ZCE0516

- ④取り外したときと逆の手順でエアクリーナーダクトを取り付けます。

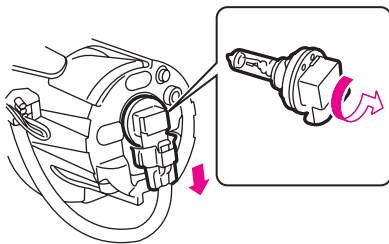
フォグランプ

- ①作業スペースを確保するために、作業する側と反対方向にハンドルを切ります。
- ②フェンダー裏側のクリップA（2箇所）とフロントバンパー下側のボルト（5箇所）を外し、フェンダープロテクターをめくります。



ZCE0598

- ③コネクターを外します。
- ④バルブを反時計回りに回して外し、交換します。

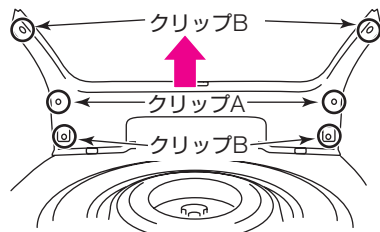


ZCE0376

- ⑤取り外したときと逆の手順で取り付けます。

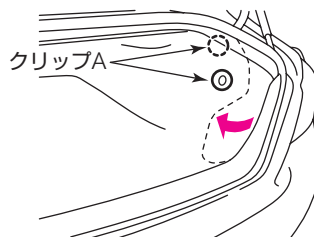
方向指示器 兼 非常点滅表示灯（後面）

- ①トランクを開けます。
- ②トランクフロアカーペットを取り出します。
- ③クリップA（2箇所）とクリップB（4箇所）を外し、トランクリヤフィニッシャーを上方へ引いて外します。



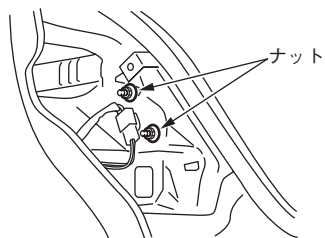
ZCE0369

- ④クリップA（2箇所）を外し、リヤホイールハウストリムの後端をめくります。



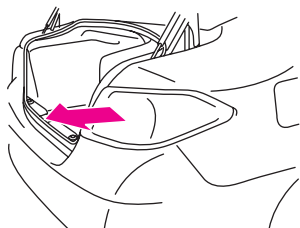
ZCE0368

- ⑤お手持ちの工具を使って、ナット（2箇所）を外します。



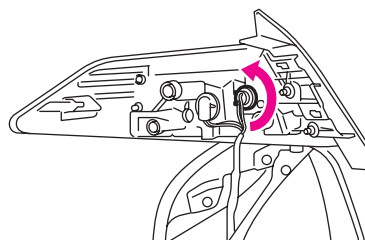
ZCE0370

- ⑥リヤコンビネーションランプを車両後方に引いて外します。



ZCE0371

- ⑦ソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。

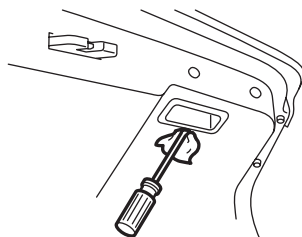


ZCE0372

- ⑧取り外したときと逆の手順で取り付けます。

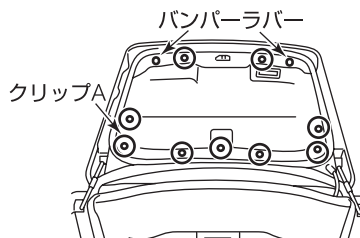
後退灯

- ①トランクを開けます。
②トランクリッドのグリップを外します。



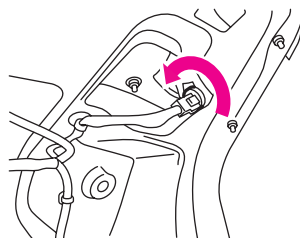
ZCE0373

- ③クリップA（9箇所）とバンパーラバー（2箇所）を外し、トランクリッドトリムを外します。



ZCE0374

- ④ソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。

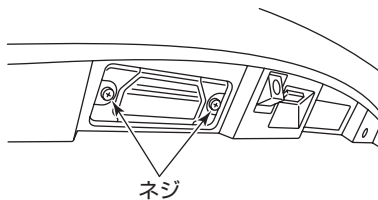


ZCE0375

- ⑤取り外したときと逆の手順で取り付けます。

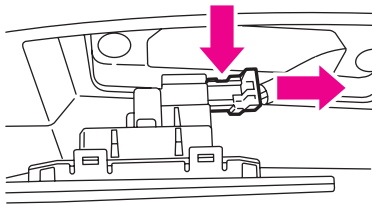
番号灯

- ①お手持ちの工具でネジを外し、ランプを外します。



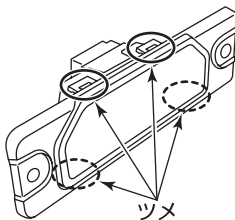
ZCE0385

- ②コネクターを外します。



ZCE0386

- ③レンズ側のツメ（4箇所）をハウジングから外し、バルブを交換します。



ZCE0387

アドバイス

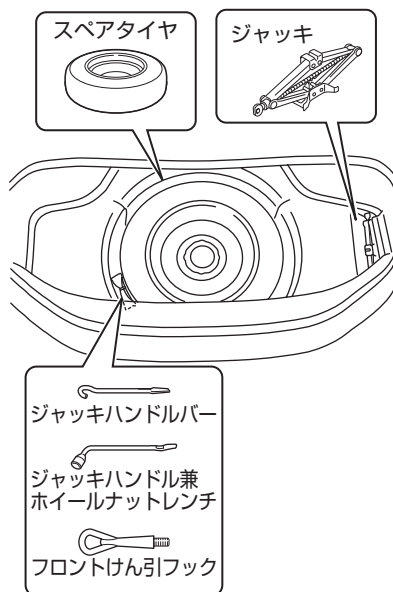
- レンズをハウジングから外すときは、レンズ側のツメが破損しないように注意してください。

- ④取り外したときと逆の手順で取り付けます。

工具・ジャッキ・スペアタイヤについて

格納場所

工具、ジャッキ、スペアタイヤはトランクルームに格納されています。



⚠ 注意

- 工具、ジャッキ、スペアタイヤを使ったあとは、元の場所に格納してください。車内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 知識

- 停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。
- 工具の種類やジャッキ、発炎筒（🔥 P.312）などは、万一のときに困らないようにあらかじめ位置を確認しておいてください。

スペアタイヤについて

スペアタイヤは応急用タイヤを搭載してあります。
タイヤがパンクしたときに、応急用として一時的に使うタイヤです。

⚠ 注意

- スペアタイヤの空気圧はときどき点検してください。また、年に一度はタイヤエアゲージを使用してタイヤ空気圧が適正であるか点検してください。長期間放置すると空気圧が減り、万一のとき使用できないことがあります。
スペアタイヤの空気圧は420kPa (4.2kg/cm²) です。
- タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。安全を確保するため、5～7年を目安に必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社にご相談ください。
- スペアタイヤを取り付けたときは、タイヤ接地部のたわみを確認してください。たわみが大きいときは空気圧が不足しています。すみやかに空気圧を調整してください。
空気圧が不足したまま走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 間違った使いかたをすると、思わぬ事故につながるおそれがありますので、次のことをお守りください。
 - ・ スペアタイヤ及びホイールはこの車専用です。他車のスペアタイヤを使ったり、他車に使わないでください。
 - ・ スペアタイヤに交換したときは、100km/h以下で走行してください。
 - ・ スペアタイヤには、タイヤチェーンは取り付けられません。
雪道、凍結路で後輪がパンクしたときは、スペアタイヤを後輪に使わず、前輪に付け、外した前輪を後輪に取り付けてください。
 - ・ スペアタイヤに交換したときは、できるだけ早く標準タイヤに戻してください。

🚗 アドバイス

- スペアタイヤに交換すると、車高が少し低くなります。地面の突起物などを乗り越えるときは、車体が接触しないように注意してください。

目次

⚠ 警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた

つ車
きと
あの上
か手
な

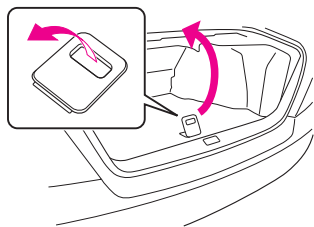
万
一
の
と
き

サ
ー
ビ
ス
デ
ー
タ

さ
く
い
ん

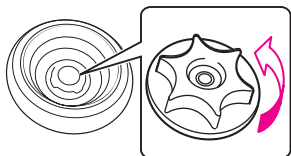
■スペアタイヤの取り出しかた

- ①ボードの取っ手部を引いて、ボードを取り外します。



ZCE0557

- ②タイヤを固定しているクランプをゆるめてタイヤを取り出します。



ESH0713Z

- スペアタイヤを格納するときは、取り出したときと逆の手順で行ってください。

アドバイス

- スペアタイヤはクランプでしっかりと固定してください。ゆるんでいると、走行の妨げになります。

ジャッキアップのしかた

⚠ 警告

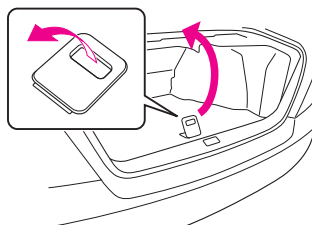
- ジャッキアップしたときは絶対に車両の下に入らないでください。ジャッキが外れると、重大な傷害につながるおそれがあり非常に危険です。
- ジャッキアップ中は、ハイブリッドシステムを始動しないでください。車が発進し、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- ジャッキを使うときは、次のことを必ず守ってください。
 - ・ジャッキは必ず車載されたものを使い、他車のジャッキは使わないでください。また、車載されたジャッキは他車に使わないでください。
 - ・ジャッキはタイヤ交換又はタイヤチェーンの脱着以外には使わないでください。
 - ・平坦で硬いところに駐車して作業してください。
 - ・使用前にパーキングブレーキをかけ、セレクトレバーをPにしてください。
 - ・輪止めなどで車を固定してください。
 - ・ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。
 - ・人や荷物は必ず車から降ろしてください。

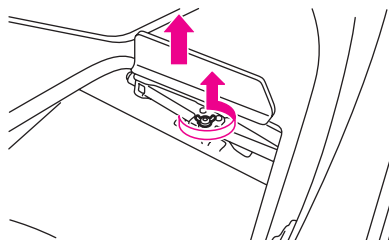
■ジャッキの取り出しかた

- ①ボードの取っ手部を引いて、ボードを取り外します。



ZCE0557

- ②右側のふたを引き上げ外します。
③ジャッキを固定しているネジを反時計回りに回して取り外します。



ZCE0359

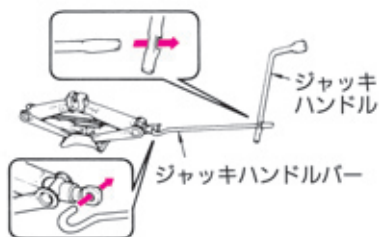
- ④ジャッキを取り出します。

- 格納するときは、取り出したときと逆の手順で行い、ガタツキがなくなるまでネジを締め付けます。

■ジャッキハンドルのセットのしかた

- ジャッキにジャッキハンドルバーとジャッキハンドルをセットします。

●格納場所…P.330



TSC1849Z

🚗 アドバイス

- ジャッキハンドルバーは、確実にジャッキハンドルの穴に差し込んでください。

■ジャッキアップのしかた

交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車し、人や荷物を車から降ろします。

⚠ 注意

- やわらかい地面の上では行わないでください。ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。

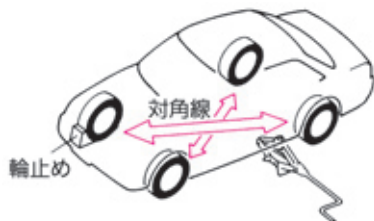
- ① パーキングブレーキをかけ、セレクトレバーをPにします。



TSC1850Z

- ② ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。

- 輪止めは、前輪をジャッキアップするときは後輪の後ろ側、後輪をジャッキアップするときは前輪の前側に置きます。



TSC1851Z

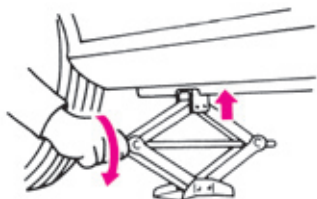
⚠ 注意

- やむを得ず傾斜地で作業する場合は、ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤの下り側に輪止めをし、車が動き出さないようにしてください。

📖 知識

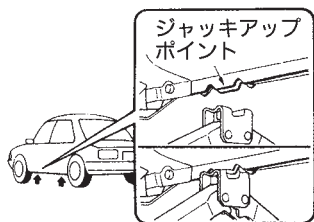
- 輪止めは標準で搭載されていませんので必要に応じて準備してください。なお、輪止めはタイヤを固定できる大きさの石、木片などで代用できます。

- ③ ジャッキを手で回し、ジャッキの溝がジャッキアップポイントの中央に入るまで上げます。



TSC0704Z

ジャッキアップポイント

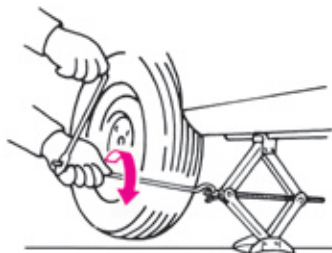


TCA0173Z

🚗 アドバイス

- ジャッキアップポイント以外の所にはジャッキをかけないでください。車体に変形するおそれがあります。

- ④ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまで、ジャッキアップします。



TSC0706Z



注意

- ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

目次

警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた

車と
あんな
上手な
つかい

万
一
の
と
き

サー
ビス
デー
タ

さ
く
い
ん

パンクしたときは

タイヤ交換のしかた

⚠ 注意

- タイヤ交換をするときは、軍手などを着用して作業してください。走行直後はホイールナットが熱いため、やけどやケガをするおそれがあります。

🚗 アドバイス

- この車両のタイヤには、走行中にタイヤから発生するロードノイズを低減するための特殊なスポンジが内蔵されているため、パンク修理剤によるパンク修理は行わないでください。

📖 知識

- スペアタイヤにはタイヤ空気圧センサーを装着していないため、スペアタイヤを装着するとタイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅したあと点灯し続けます。

① 交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車します。

- 人や荷物を降ろします。
- 必要に応じて、非常点滅表示灯を点滅させ、停止表示板（又は停止表示灯）を置きます。
- 工具、ジャッキやスペアタイヤを取り出します。

🔍 ジャッキの取り出ししかた…P.333

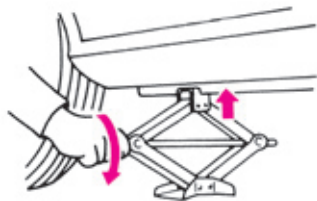
🔍 スペアタイヤの取り出ししかた…P.332



TSC1850Z

② ジャッキをセットします。

- ジャッキを手で回し、ジャッキの溝がジャッキアップポイント（🔍 P.334）の中央に入るまで上げます。
- スペアタイヤをジャッキ近くの車体の下に置きます。

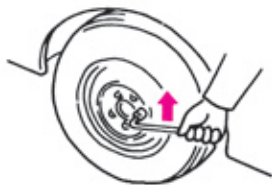


TSC0704Z

🚗 アドバイス

- スペアタイヤを置くときは、ラベル貼付側を上にしてください。

- ③ホイールナットレンチで、全てのナットを反時計回りに約1回転ゆるめます。

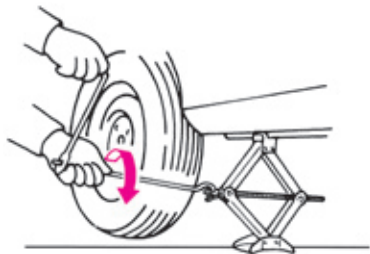


TSC0707Z

アドバイス

- タイヤを接地状態にして行います。

- ④ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまでジャッキアップします。

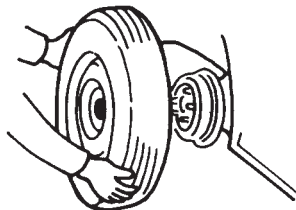


TSC0706Z

注意

- ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

- ⑤ナットを外し、パンクしたタイヤを外して車体の下に置きます。



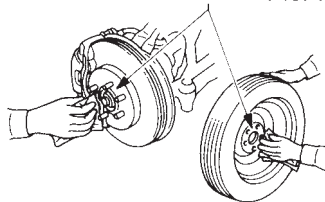
TSA1464Z

アドバイス

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。

- ⑥ハブの取付面とホイール裏側の取付面を布でよくふき、スペアタイヤを取り付けます。

ホイールとハブの取付面



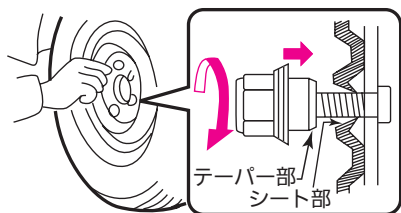
TCE0093Z

注意

- 取付面が汚れていると、走行中にナットがゆるみタイヤが外れるおそれがあります。
- スペアタイヤは、ラベル貼付側が外側になるように取り付けてください。逆に付けると他の部品と当たり、思わぬ故障につながるおそれがあります。

⑦ナットを取り付けます。

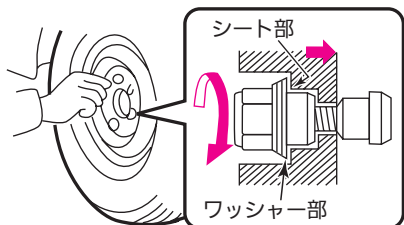
- ・ナットのテーパ部が、ホイール穴のシート部に軽く当たるくらいまで、時計回りに回して締め付けます。



TSG0028Z

スペアタイヤからアルミホイールに交換するとき

- ・ナットのワッシャー部がホイール穴のシート部に軽く当たるくらいまで、時計回りに回して締め付けます。

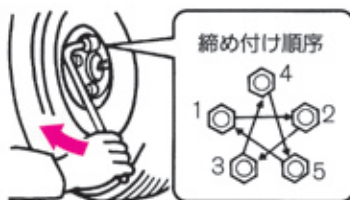


ESG0640Z

警告

- ・工場出荷時に装着される本車両専用のアルミホイールには、必ず上記イラストの専用平座ナットを使用してください。また、ナットを取り付けるときは、ナットやボルトにオイルやグリスなどを塗らないでください。走行中にナットがゆるみ、タイヤが外れるおそれがあります。

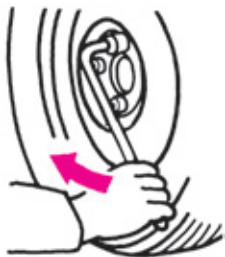
⑧ナットを、図の順序で2～3回に分けて締め付けます。



TSC1854Z

- ⑨ ジャッキを下げます。
さらにナットを⑧の締め付け順序で十分に締め付けます。

- ホイールナット締め付けトルク
108N・m (11kg・m)



TSC0710Z

⚠ 注意

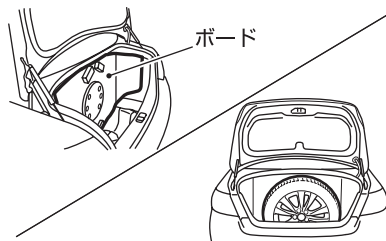
- ジャッキを下げるときは、ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを両手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ホイールナットレンチを足で踏んで回したり、パイプなどを使って必要以上に締め付けないでください。ボルトが折れるおそれがあります。

- ⑩ パンクしたタイヤや使用した工具、ジャッキなどをトランクルームに格納します。

- パンクしたタイヤは、トランクルームのボードを外して奥に立てかけて、手前のすき間に格納します。



ZCE0558

⚠ 注意

- タイヤを取り付けてしばらく走行したあと、ナットのゆるみや車体の振動などの異常がないか確認してください。

事故がおきたときは

あわてずに次の処置をしてください。

1 続発事故の防止

他の交通の妨げにならないような安全な場所に車を移動させ、ハイブリッドシステムを停止します。

2 負傷者の救護

負傷者がいる場合は、医師・救急車が到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

3 警察への届け出

事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを連絡します。

4 相手方の確認とメモ

相手方の氏名、住所、電話番号などを確認してメモします。
同時に事故状況もメモしておいてください。

5 販売会社と保険会社への連絡

ご購入された販売会社と加入の保険会社へ連絡をします。